



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 株式会社ソフトクリエイイトホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3371 URL <https://www.softcreate-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 林 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐藤 淳 TEL 03-3486-0606
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月5日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	34,391	11.1	6,209	12.9	6,544	13.5	4,173	17.6
2025年3月期	30,951	10.9	5,497	6.4	5,764	7.6	3,547	8.9

(注) 包括利益 2026年3月期 5,408百万円 (33.2%) 2025年3月期 4,061百万円 (△16.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	167.14	162.74	18.2	16.9	18.1
2025年3月期	141.93	140.42	18.0	17.2	17.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 88百万円 2025年3月期 83百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	42,060	29,201	59.7	991.53
2025年3月期	35,592	24,598	58.5	836.23

(参考) 自己資本 2026年3月期 25,124百万円 2025年3月期 20,831百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	5,542	△5,398	△868	14,233
2025年3月期	4,995	△2,081	△1,465	14,958

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00	1,372	38.7	7.0
2026年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00	1,559	37.1	6.8
2027年3月期(予想)	—	31.00	—	31.00	62.00		37.4	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,840	8.1	2,745	0.2	2,965	△2.4	1,815	△2.9	71.63
通期	37,000	7.6	6,300	1.5	6,550	0.1	4,200	0.6	165.75

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) メグリ株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	27,550,278株	2025年3月期	27,550,278株
2026年3月期	2,211,388株	2025年3月期	2,639,011株
2026年3月期	24,970,897株	2025年3月期	24,996,044株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,850	3.9	2,432	8.9	2,492	8.9	2,136	11.2
2025年3月期	3,705	△14.1	2,232	△20.1	2,289	△19.7	1,921	△18.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	85.54	83.30
2025年3月期	76.86	76.05

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	14,445	12,824	85.9	489.67
2025年3月期	12,621	11,035	83.6	423.75

(参考) 自己資本 2026年3月期 12,407百万円 2025年3月期 10,556百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 13
(セグメント情報等の注記)	P. 13
(企業結合等関係)	P. 17
(1株当たり情報の注記)	P. 19
(重要な後発事象の注記)	P. 19

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられて、景気は緩やかな回復基調にあるものの、一方で、エネルギー・原材料価格の高止まりによる物価上昇の影響が続き、企業においてはコスト負担の増加や人手不足の深刻化が経営上の制約要因となりました。また、金融政策の正常化に伴う金利水準の上昇や為替相場の変動など、金融環境の変化にも留意が必要な状況となりました。世界経済においては、米国経済の減速懸念や中国経済の回復鈍化、通商政策を巡る不確実性に加え、中東紛争の緊迫化・長期化によるエネルギー関連製品の更なる価格高騰や供給制約の懸念などから、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループが属するIT業界は、企業のECサイト構築需要が拡大したことや、生成AI市場の世界的な需要急拡大を背景としてAIを活用したITサービスが進展いたしました。また、企業への相次ぐランサムウェア攻撃による被害発生により、セキュリティ対策への投資意欲が高まり、企業の事業拡大への積極投資やセキュリティ対策の強化に向けた戦略的なIT投資は活発化しております。

このような状況の中で、当社グループは国内市場シェアNo. 1のECサイト構築プラットフォーム「ecbeeing」の提供やECサイトの売上拡大のための施策となるクラウドサービス（SaaS型）の提供を推進してまいりました。そのほか、企業への相次ぐランサムウェア攻撃に対するセキュリティソリューションの提供、当社独自で開発した企業向け生成AIサービス「Safe AI Gateway」の提供、企業内の情報システムサービス「SCクラウド」、「Xpointクラウド」の提供を推進するなど、ECソリューション事業及びITソリューション事業の売上拡大に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は343億91百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は62億9百万円（同12.9%増）、経常利益は65億44百万円（同13.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は41億73百万円（同17.6%増）となりました。

当連結会計年度におけるセグメントの業績の概要は、次のとおりであります。

（ECソリューション事業）

国内市場シェアNo. 1のECサイト構築パッケージ「ecbeeing」の販売及びECクラウドサービス「メルカート」の提供や、ECサイトの売上拡大施策となるビジュアルマーケティング「visumo」、レビュー最適化ツール「Revico」、オムニチャネル分析ツール「Sechstant」等のクラウドサービス（SaaS型）を提供し、トータルのECソリューションを提供しております。

ECソリューション事業は、ECサイト構築売上高が伸長したことや、ECサイトの売上拡大施策となるクラウドサービス売上高が伸長したこと等により、売上高は180億90百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は44億92百万円（同10.3%増）となりました。

（ITソリューション事業）

当社グループの独自サービスである「SCクラウド」、ワークフローサービス「Xpointクラウド」等のクラウドサービス（SaaS型）の提供をしております。そのほか、セキュリティ・インフラ構築や当社グループが独自で開発したプロダクト製品「AgileWorks」、「L2Blocker」を販売しております。

ITソリューション事業は、クラウドサービス売上高が伸長したことや、セキュリティ・インフラ構築売上高の伸長により、売上高は163億円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は32億31百万円（同7.8%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12.9%増加し、269億1百万円となりました。これは、主に現金及び預金が増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことから、有価証券が19億90百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ28.9%増加し、151億58百万円となりました。これは、主にのれんが17億76百万円、投資有価証券が11億81百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ18.2%増加し、420億60百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ17.5%増加し、100億49百万円となりました。これは、主に買掛金が8億27百万円、契約負債が2億72百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ15.2%増加し、28億9百万円となりました。これは、主に長期借入金が1億43百万円、繰延税金負債が1億45百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ17.0%増加し、128億59百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ18.7%増加し、292億1百万円となりました。これは、主に利益剰余金が27億14百万円、その他有価証券評価差額金が7億28百万円増加したこと等によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して7億24百万円減少し、142億33百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、55億42百万円（前期は49億95百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払額が20億55百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が66億55百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、53億98百万円（前期は20億81百万円の使用）となりました。これは、主に有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が25億円あったものの、有価証券の取得による支出が44億90百万円、無形固定資産の取得による支出が17億67百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、8億68百万円（前期は14億65百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が14億55百万円あったこと等によるものであります。

（キャッシュ・フロー指標の推移）

	2025年3月期 (連結)	2026年3月期 (連結)
自己資本比率 (%)	58.5	59.7
時価ベースの自己資本比率	137.6	113.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	3.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

（注）1 各指標は、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)：営業キャッシュ・フロー／利払い

2 株式の時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ECサイト構築需要の拡大を背景として、国内市場シェアNo.1のECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」及び売上拡大施策となるマイクロサービス（S a a S型）が拡大すると見込んでおります。また、生成AI市場の世界的な需要急拡大を背景として、当社独自で開発した企業向け生成AIサービス「S a f e A I G a t e w a y」が拡大することや企業内情報システムサービス「S Cクラウド」、「X - p o i n tクラウド」、「A g i l e W o r k sクラウド」の拡大を見込んでおります。そのほか、企業のセキュリティ対策が脆弱な部分を狙ったサイバー犯罪は増加傾向にあり、事業継続の重要な要素としてサイバーセキュリティの対策が講じられる必要性が高まり、セキュリティ投資需要の拡大を見込み、売上増及び利益増を想定しております。

また、費用面につきましては、2026年3月31日付で株式を取得したメグリ株式会社ののれん償却費の計上、セキュリティ対策の費用増、製品機能強化の充実のための費用増や知名度向上のための広告宣伝費の増加等はあるものの、ECソリューション事業及びITソリューション事業の拡大に伴う利益増が吸収し、増収増益と過去最高の売上高及び利益を想定しております。

次期の連結業績予想につきましては、売上高370億円（前年同期比7.6%増）、営業利益は63億円（同1.5%増）、経常利益は65億50百万円（同0.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は42億円（同0.6%増）を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,958,286	13,224,404
受取手形、売掛金及び契約資産	6,681,513	7,964,099
電子記録債権	116,524	72,431
有価証券	189	1,991,026
商品	360,638	589,414
その他	1,717,967	3,063,962
貸倒引当金	△3,935	△3,697
流動資産合計	23,831,184	26,901,641
固定資産		
有形固定資産		
建物	216,942	245,014
減価償却累計額	△85,489	△103,600
建物（純額）	131,453	141,413
工具、器具及び備品	715,823	776,591
減価償却累計額	△566,997	△617,425
工具、器具及び備品（純額）	148,826	159,165
土地	17,306	17,306
有形固定資産合計	297,586	317,885
無形固定資産		
ソフトウェア	2,451,079	2,851,689
のれん	114,520	1,891,365
その他	2,874	2,874
無形固定資産合計	2,568,473	4,745,929
投資その他の資産		
投資有価証券	7,349,334	8,530,632
繰延税金資産	324,256	195,440
その他	1,229,788	1,376,593
貸倒引当金	△7,774	△7,774
投資その他の資産合計	8,895,605	10,094,892
固定資産合計	11,761,664	15,158,706
資産合計	35,592,849	42,060,347

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,341,561	3,169,264
契約負債	1,912,310	2,184,734
1年内返済予定の長期借入金	—	65,442
未払法人税等	1,213,238	1,247,252
賞与引当金	842,720	955,248
工事損失引当金	7,512	—
その他	2,238,163	2,427,321
流動負債合計	8,555,505	10,049,263
固定負債		
長期借入金	—	143,379
役員退職慰労引当金	871,301	953,092
退職給付に係る負債	1,075,496	1,075,375
繰延税金負債	492,228	638,044
固定負債合計	2,439,026	2,809,891
負債合計	10,994,532	12,859,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	854,101	854,101
資本剰余金	2,157,171	2,396,515
利益剰余金	18,791,152	21,505,834
自己株式	△3,366,630	△2,784,066
株主資本合計	18,435,795	21,972,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,360,306	3,088,476
退職給付に係る調整累計額	35,506	63,488
その他の包括利益累計額合計	2,395,812	3,151,965
新株予約権	552,400	495,907
非支配株主持分	3,214,308	3,580,933
純資産合計	24,598,317	29,201,192
負債純資産合計	35,592,849	42,060,347

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	30,951,761	34,391,392
売上原価	18,087,281	20,376,066
売上総利益	12,864,480	14,015,326
販売費及び一般管理費	7,366,515	7,806,007
営業利益	5,497,964	6,209,318
営業外収益		
受取利息	4,158	16,170
受取配当金	106,833	108,870
貸倒引当金戻入額	7	626
為替差益	—	192
協賛金収入	87,489	121,805
持分法による投資利益	83,717	88,243
その他	7,870	11,631
営業外収益合計	290,077	347,541
営業外費用		
自己株式取得費用	1,120	—
為替差損	49	—
上場関連費用	12,348	—
投資事業組合運用損	—	7,862
中途解約違約金	4,500	—
支払補償費	4,357	2,560
その他	1,590	2,359
営業外費用合計	23,966	12,782
経常利益	5,764,076	6,544,077
特別利益		
投資有価証券売却益	112,689	—
段階取得に係る差益	—	88,553
新株予約権戻入益	4,525	15,693
保険解約返戻金	24,287	13,669
特別利益合計	141,502	117,916
特別損失		
投資有価証券評価損	157,595	2,978
投資有価証券売却損	139	—
固定資産除却損	1,554	3,779
特別損失合計	159,289	6,757
税金等調整前当期純利益	5,746,289	6,655,236
法人税、住民税及び事業税	1,779,635	2,069,361
法人税等調整額	△53,710	△66,825
法人税等合計	1,725,924	2,002,536
当期純利益	4,020,364	4,652,700
非支配株主に帰属する当期純利益	472,636	479,168
親会社株主に帰属する当期純利益	3,547,728	4,173,532

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	4,020,364	4,652,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160,558	727,926
退職給付に係る調整額	△119,571	27,136
持分法適用会社に対する持分相当額	160	244
その他の包括利益合計	41,147	755,307
包括利益	4,061,512	5,408,008
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,590,266	4,930,230
非支配株主に係る包括利益	471,245	477,777

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	854,101	1,932,036	16,533,240	△3,068,372	16,251,006
当期変動額					
剰余金の配当			△1,289,815		△1,289,815
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,547,728		3,547,728
連結子会社株式の売却 による持分の増減		178,293			178,293
連結子会社の増資によ る持分の増減		42,094			42,094
自己株式の取得				△323,691	△323,691
自己株式の処分		4,747		25,433	30,180
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	225,134	2,257,912	△298,257	2,184,789
当期末残高	854,101	2,157,171	18,791,152	△3,366,630	18,435,795

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持 分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計			
当期首残高	2,199,587	153,687	2,353,274	441,967	2,605,518	21,651,767
当期変動額						
剰余金の配当						△1,289,815
親会社株主に帰属する 当期純利益						3,547,728
連結子会社株式の売却 による持分の増減						178,293
連結子会社の増資によ る持分の増減						42,094
自己株式の取得						△323,691
自己株式の処分						30,180
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	160,719	△118,180	42,538	110,432	608,789	761,760
当期変動額合計	160,719	△118,180	42,538	110,432	608,789	2,946,550
当期末残高	2,360,306	35,506	2,395,812	552,400	3,214,308	24,598,317

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	854,101	2,157,171	18,791,152	△3,366,630	18,435,795
当期変動額					
剰余金の配当			△1,458,850		△1,458,850
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,173,532		4,173,532
連結子会社の自己株式 取得による持分の増減		△47			△47
連結子会社の合併による 増減		28,044			28,044
自己株式の取得				△169	△169
自己株式の処分		211,346		582,733	794,079
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	239,344	2,714,681	582,564	3,536,589
当期末残高	854,101	2,396,515	21,505,834	△2,784,066	21,972,385

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	2,360,306	35,506	2,395,812	552,400	3,214,308	24,598,317
当期変動額						
剰余金の配当						△1,458,850
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,173,532
連結子会社の自己株式 取得による持分の増減						△47
連結子会社の合併による 増減						28,044
自己株式の取得						△169
自己株式の処分						794,079
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	728,170	27,981	756,152	△56,492	366,624	1,066,284
当期変動額合計	728,170	27,981	756,152	△56,492	366,624	4,602,874
当期末残高	3,088,476	63,488	3,151,965	495,907	3,580,933	29,201,192

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,746,289	6,655,236
減価償却費	1,211,621	1,442,205
のれん償却額	28,630	28,630
株式報酬費用	299,783	202,020
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	401	△237
賞与引当金の増減額 (△は減少)	166,256	95,301
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23,141	39,648
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	69,500	81,791
受取利息及び受取配当金	△110,992	△125,041
自己株式取得費用	1,120	—
固定資産除却損	1,554	3,779
投資有価証券売却損益 (△は益)	△112,550	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	157,595	2,978
為替差損益 (△は益)	49	△192
持分法による投資損益 (△は益)	△83,717	△88,243
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△88,553
新株予約権戻入益	△4,525	△15,693
保険解約戻戻金	△24,287	△13,669
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△862,901	△1,134,982
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△103,538	△226,579
前払費用の増減額 (△は増加)	△256,431	△747,809
仕入債務の増減額 (△は減少)	424,155	808,151
契約負債の増減額 (△は減少)	222,976	272,424
未払金の増減額 (△は減少)	154,199	△109,903
その他	△270,129	391,750
小計	6,631,915	7,473,010
利息及び配当金の受取額	112,027	125,030
法人税等の支払額	△1,747,982	△2,055,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,995,961	5,542,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△4,490,616
有形固定資産の取得による支出	△124,944	△91,812
無形固定資産の取得による支出	△1,602,582	△1,767,748
投資有価証券の取得による支出	△179,448	—
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	176,963	2,500,000
関係会社株式の取得による支出	—	△51,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△99,185	△1,533,450
貸付けによる支出	△12,554	△16,743
貸付金の回収による収入	9,223	14,810
敷金及び保証金の差入による支出	△279,135	△47,148
敷金及び保証金の回収による収入	81	54,760
保険積立金の積立による支出	△1,855	△1,850
保険積立金の解約による収入	32,009	32,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,081,430	△5,398,556
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	24,444	335,712
自己株式の取得による支出	△324,811	△169
自己株式の処分による収入	—	379,199
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	△239,005	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	430,211	—
非支配株主からの払込みによる収入	97,050	—
子会社の自己株式の取得による支出	—	△47
配当金の支払額	△1,288,713	△1,455,047
非支配株主への配当金の支払額	△164,569	△127,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,465,392	△868,059
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,449,139	△724,481
現金及び現金同等物の期首残高	13,509,336	14,958,475
現金及び現金同等物の期末残高	14,958,475	14,233,994

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

当社連結子会社の株式会社v i s u m oと、同じく当社連結子会社の株式会社R e v i C oは、2026年1月1日付で株式会社v i s u m oを存続会社、株式会社R e v i C oを消滅会社とする吸収合併を行っております。当該子会社において、合併を契機とし、オフィス移転を決定しており、当該子会社の賃借不動産に設置した建物付属設備について使用見込み年数を見直しております。

移転後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、当該子会社の不動産賃貸契約に伴う原状回復費用について、敷金のうち回収が最終的に見込めないと認められる金額及び償却期間の見積りを変更しております。

この変更により、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益は3百万円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、子会社に製品・サービス別の事業部門を設置し、各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ECソリューション事業」、「ITソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ECソリューション事業」は、ECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」のパッケージソフトの販売、カスタマイズ及びデータセンターでのホスティングサービスの提供に加えて、SEO対策及びプロモーション等の付加価値サービスを提供し、トータル的なECソリューションを提供しております。

「ITソリューション事業」は、当社グループが開発した3つのソフトウェアプロダクト（X-p o i n tクラウド、A g i l e W o r k s、L 2 B l o c k e r）の販売、ネットワーク構築を提供しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	ECソリューション 事業	ITソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額 (注) 2
売上高					
一時点で移転される財	1,045,680	3,807,811	4,853,492	—	4,853,492
一定の期間にわたり 移転される財	15,575,383	10,176,677	25,752,061	—	25,752,061
顧客との契約から 生じる収益	16,621,064	13,984,489	30,605,553	—	30,605,553
その他の収益	—	346,207	346,207	—	346,207
外部顧客への売上高	16,621,064	14,330,697	30,951,761	—	30,951,761
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,377	150,341	159,718	△159,718	—
計	16,630,441	14,481,039	31,111,480	△159,718	30,951,761
セグメント利益	4,072,972	2,997,433	7,070,405	△1,306,329	5,764,076
セグメント資産	5,599,322	6,431,687	12,031,009	23,561,839	35,592,849
その他の項目					
減価償却費	444,791	709,012	1,153,803	57,817	1,211,621
のれん償却額	—	28,630	28,630	—	28,630
持分法適用会社への投 資額	614,969	212,125	827,095	—	827,095
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	610,056	1,078,105	1,688,162	196,306	1,884,468

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,306,329千円は、セグメント間取引△122,974千円、その他調整額△16,165千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,167,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額23,561,839千円の主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）並びに管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額57,817千円は、管理部門に係る設備投資に対する償却費等であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額196,306千円は、管理部門に係る設備投資であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	ECソリューション 事業	ITソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額 (注) 2
売上高					
一時点で移転される財	1,157,395	4,510,610	5,668,005	—	5,668,005
一定の期間にわたり 移転される財	16,933,585	11,347,281	28,280,866	—	28,280,866
顧客との契約から 生じる収益	18,090,980	15,857,891	33,948,871	—	33,948,871
その他の収益	—	442,520	442,520	—	442,520
外部顧客への売上高	18,090,980	16,300,412	34,391,392	—	34,391,392
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,979	231,540	244,520	△244,520	—
計	18,103,959	16,531,953	34,635,912	△244,520	34,391,392
セグメント利益	4,492,440	3,231,319	7,723,760	△1,179,682	6,544,077
セグメント資産	8,960,048	7,461,860	16,421,909	25,638,437	42,060,347
その他の項目					
減価償却費	580,584	795,516	1,376,101	66,104	1,442,205
のれん償却額	—	28,630	28,630	—	28,630
持分法適用会社への投 資額	705,221	210,361	915,583	—	915,583
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,628,444	1,002,144	3,630,588	36,508	3,667,096

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,179,682千円は、セグメント間取引△162,369千円、その他調整額△7,524千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,009,788千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額25,638,437千円の主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）並びに管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額66,104千円は、管理部門に係る設備投資に対する償却費等であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額36,508千円は、管理部門に係る設備投資であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

	ECソリューション事業	ITソリューション事業	合計
当期償却額	—	28,630	28,630
当期末残高	—	114,520	114,520

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

	ECソリューション事業	ITソリューション事業	合計
当期償却額	—	28,630	28,630
当期末残高	1,805,475	85,890	1,891,365

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年2月27日開催の取締役会において、メグリ株式会社（以下「メグリ社」という。）の普通株式等の一部（所有割合75.0%）の当社による取得に係る株式譲渡契約の締結を決議し、同日付で当該契約を締結し、2026年3月31日付で同社は当社の連結子会社となりました。

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 メグリ株式会社

事業の内容 アプリマーケティングプラットフォーム「MGRe」の開発・運営

(2) 企業結合を行う主な理由

新型コロナウイルスの影響により生じたオンラインとオフラインの両方のチャネルを利用するという消費者の購買様式の変化に伴い、実店舗とECをシームレスに統合するオムニチャネル戦略の重要性が増していることから、当社は、2024年12月、オンラインとオフラインの窓口となるアプリを通じた顧客体験向上を実現するため、メグリ社と資本業務提携を行いアプリの強化を図ってきました。

かかる資本業務提携の一環として、当社の完全子会社である株式会社e c b e i n gがメグリ社の発行済株式の5%を保有しておりますが、今般、当社によるメグリ社の株式の追加取得により当社グループにおける更なるサービス展開の拡大と、チャネルの基盤強化による事業領域の拡大を展望し、当社グループの更なる業容拡大及び収益力強化の実現を目的として、本取得を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2026年3月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合日直前に所有している議決権比率 5%

取得後の議決権比率 80%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

2026年3月31日を取得日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当連結会計年度に係る連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

3 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に保有していた株式の企業結合日における時価	98,877千円
追加取得に伴い支出した現金	1,882,953千円
取得原価	1,981,830千円

4 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益 88,553千円

5 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー費用等 11,500千円

6 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

1,805,475千円

なお、のれん金額は、当連結会計年度末において企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間において均等償却する予定であり、償却期間は現在算定中であります。

7 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	521,288千円
固定資産	13,670千円
<hr/>	<hr/>
資産合計	534,959千円
流動負債	171,135千円
固定負債	143,379千円
<hr/>	<hr/>
負債合計	314,514千円

8 取得原価の配分

当連結会計年度末において企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

9 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（1株当たり情報の注記）

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	836円23銭	991円53銭
1株当たり当期純利益金額	141円93銭	167円14銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	140円42銭	162円74銭

（注）1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	3,547,728	4,173,532
普通株主に帰属しない金額（千円）		
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	3,547,728	4,173,532
普通株式の期中平均株式数（株）	24,996,044	24,970,897
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	△290	△337
（うち連結子会社の潜在株式による調整額（千円））	(△290)	(△337)
普通株式増加数（株）	266,752	673,173
（うち新株予約権（株））	(266,752)	(673,173)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	<p>（提出会社） 第9回新株予約権 新株予約権の数 2,212個 （普通株式 442,400株）</p> <p>（連結子会社） 株式会社エイトレッド 第2回新株予約権 新株予約権の数 430個 （普通株式 43,000株）</p> <p>第3回新株予約権 新株予約権の数 1,092個 （普通株式 109,200株）</p> <p>エクスジェン・ネットワークス株式会社 第1回新株予約権 新株予約権の数 706個 （普通株式 706株）</p>	<p>（連結子会社） 株式会社エイトレッド 第2回新株予約権 新株予約権の数 395個 （普通株式 39,500株）</p> <p>第3回新株予約権 新株予約権の数 992個 （普通株式 99,200株）</p> <p>株式会社visumo 第3回新株予約権 新株予約権の数 165個 （普通株式 16,500株）</p> <p>エクスジェン・ネットワークス株式会社 第1回新株予約権 新株予約権の数 706個 （普通株式 706株）</p>

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。